

## 黒岩知事が行う「いのちの授業」

7月11日（水）の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、中井町立井ノ口小学校において、知事が4年1組25名の子どもたちに『いのちの授業』を行いました。

### 葉っぱの集い

「自分がもし、一枚の葉っぱだったら、世界はどんな感じに見えるかなあ。」

先週、子どもたちは近くの森に出かけ、木々に触れながら、一枚の葉っぱになりきって、その気持ちを感じました。そして自分の葉っぱを絵に描きました。

今日の授業は、黒板の大きな幹に貼った自分たちの葉っぱを見るところからスタートです。



「その一枚の葉っぱから、世界はどんな感じで見えたかなあ。」

知事が子どもたちに問いかけました。

子どもたちは一人ずつ、葉っぱになった自分が見た世界を、絵を見せながら語っていきます。

「ぼくの家が、上から見えました。」

「海が見えて、町が遠くに見えました。」

「ちがった視点から物事を見てみよう。」  
今度は、知事が真上から男の子をカメラで写し、どんなふうに写るかをみんなで考えます。

皆が見ている世界は、自分が見ている世界とは違うことを理解し、相手の目になって考えられれば、相手を思いやれる。それが、いのちが輝くことにつながるのです。





授業が終わって子どもたちが知事の周りに集まってきました。  
全員と握手をして、クラスみんなに色紙を書いて贈りました。

最後に、全員で記念写真を撮りました。

